

平成31年度小松市立第一小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
道徳教育	「特別の教科 道徳」を中心とした道徳性の育成		
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観や学校公開で、全学級で道徳授業を公開し、家庭や地域と連携して道徳性を高める。 ・ねらいを明確にした道徳授業を実践し、指導と評価の一体化を図る。 		
キャリア教育	地域素材・地域人材の活用		
	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望をもって努力し、意欲をもって学び続ける児童を育てるために、地域素材・地域人材を活用する。 ・ボランティアマインドを育成し、相手の立場に立って考え、行動しようとする児童を育てる。 		
生徒指導	児童一人一人の居場所づくり・絆づくり		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が互いに関わり合える場を設定し、みんなで取り組むことのよさを実感させる。 ・『魅力ある学校づくり調査研究事業』を通して、学年・学校が一丸となって児童の実態把握を行い、具体的なプランを立て、取組を確実に実施していく。年間3回の取組の検証を行う。 		
特別支援教育	児童理解の充実		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童理解の会を全体又は学年別で行い、児童への理解を深め、適切な支援方法の共通理解を図り実施する。 ・個に応じた対応力を向上させるために講師を招聘し、事例検討会を行う。 		
読書教育	読書の質的向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童1人1人が読書に対するめあてをもち、「本のとびら」や「この本を読もう」などを活用しながら、読書量の増加を図ったり、良書に親しんだりするよう働きかける。 		
保健健康教育	自己管理能力の育成		
	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭を中心に、学年の実態に応じた食育の授業を年1回行う。 ・けが予防については、学年の実態に応じて段階的な指導方法を考え、実施する。学校保健委員会では『けがをしにくい体づくり』をテーマに講師を招聘し、けが予防への意識付けを行う。 		
体力づくり	体力向上につなげる取り組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教科のねらいと関連させながら、補助運動として「スポチャレいしかわ」に取り組み、バランスよく体力の向上を目指す。体育の準備運動としてラダーを使った準備運動に取り組めるようにする。 ・児童が企画・運営する体力向上遊びに全校で取り組むことで、運動に親しむ時間を設け体力の向上を目指す。 		

学校関係者評価	
---------	--